

令和5年12月熊野市教育委員会会議録

1. 日 時 令和5年12月21日（木） 午後4時00分から
2. 場 所 文化交流センター 多目的ルーム
3. 出席者 倉本教育長 根引委員、糸川委員、高見委員、北野委員
4. 事務局説明員
雑賀総務課長、伴学校教育課長、柳本社会教育課長、
泉総務課庶務係長
5. 教育長報告
6. その他
市議会定例会一般質問について（総務課）
令和6年熊野市二十歳を祝う会について（社会教育課）

□開会（開会の宣言）

（教育長）それではただいまから、令和5年12月熊野市教育委員会会議を始めさせていただきます。事項書に沿って進めてまいります。

□教育長報告

（教育長）事項2 報告、別紙をご覧ください。

（経過報告、事件・事故等、今後の予定・その他について報告）

（教育長）それでは、教育長報告の中で質問等ございませんでしょうか。

（委員）ありません。

（教育長）それでは、事項2 教育長報告を終わらせていただきます。事項3 議事は特にございません。事項4 報告、特にございません。事項5 その他、（1）市議会定例会一般質問について。

（事務局）（市議会定例会一般質問について説明）

（教育長）ただいまの市議会定例会一般質問について、何か質問等ございませんでしょうか。

（事務局）ちなみに、中継もされておりますので、ご自宅で観られるようになっていきます。

（教育長）録画も観れますので、また何かありましたら覗いていただきたいと思います。市のホームページの議会から入っていただけます。

（委員）一般質問には、要望的なものもあるんですか。こうして欲しいとか。

（事務局）あります。大体そういうのが多いんじゃないでしょうか。あんまりこれどうなってるんだとかいう追及よりかは、こうしたらどうでしょう、こうしてくださいみたいな形が多いように思います。

- (教育長) よろしいでしょうか。
- (委員) はい。
- (教育長) それでは、(2) 令和6年熊野市二十歳を祝う会についてお願いします。
- (事務局) (令和6年熊野市二十歳を祝う会について説明)
- (教育長) 二十歳を祝う会について、何か質問等ございませんでしょうか。
- (委員) どちらでもいいんですけど、子どもたち、成人の方、二十歳になられた方は多いんで、写真撮影のことなんですけど、見させてもらったら、子どもたち、成人の方の写真が小さ写るんですけど、その関係で、教育委員会は教育長が代表で撮影してもらって、あとの私たちは写真撮影の時はちょっと無でもいいのかなと。少しでも減らしてあげると、顔がアップにできるかなと思ったので。そういう思いがあるんですけど、どうでしょう。
- (教育長) 委員さんおひとりおひとりのご意見を伺いたいと思います。どうでしょう。
- (委員) 同感です。子どもだけでもいいくらい。市長や前列の方はいいと思うが、後ろの方に並ぶ大人はいらないと思います。
- (委員) 私も同感です。
- (委員) 私も皆さんと同じで、二十歳の方だけで撮っていただいた方が。市長と教育長だけ写っていただいたら良いのではないかと思います。子どもたちだけで撮っていただいたらいいと思います。
- (教育長) 対象者を中心に考えていくという視点に立っていくという意見をいただきました。できるだけそのような方向に持っていくと思っております。
- (委員) 少ない人数の地域の撮影で、人数的に寂しいようであれば入らせていただきますけど、人数の多いところは沢山いらっしゃいますんで、逆に我々は邪魔になっちゃうんじゃないかなと思ひまして。
- (教育長) 主催が熊野市と熊野市教育委員会となっておりますので、市長にも確認を取らないといけませんので、ご意見を頂戴したことを伝えて、最終的に決定していきたいと思ひます。よろしくお祈いします。
- (教育長) 全体を通して質問等ございませんでしょうか。
- (委員) さっきの、市議員の人からの要望の件なんですけど、要望が多いということで、その要望に答えられるか答えられないかっていう、その要望に対するできるパーセンテージとできないパーセンテージは大体どれくらいですか。
- (教育長) パーセンテージはわからないんですが、気づいていないところでの指

摘を受けたことなんかはあります。例えば、市民会館の吊り天井の危険性とかですね。そういったことにつきましては、対応していかねなければならない、命に関わることですから、それらは前向きに対応していく。ただ、例えば同じ市民会館でもエレベーターをつけて欲しいというような要望については、現在の構造上、大規模工事になるので非常に難しいと言わざるを得ない。だから、同じ議員さんの質問でも内容によって違ってきます。ですからパーセンテージはわからないんですが、学校図書館に学校司書を配置して欲しいというような要望につきましては、そのことについての私共、教育委員会からの予算要望をずっと続けておりましたので、それがアシストしてくれるような場合もございます。何せ予算の伴うことにつきましては、限られた予算の中で対応していかねなければならないので、「やっていきます」「検討していきます」「できません」この3つで進めています。

(事務局) どの議員さんも教育への関心が高く、全部の市役所の部署を対象に一般質問するもんなんですけど、教育委員会の比率が高いです。

(委員) 市会議員の人は、全員何か質問しなければいけないんですか。

(教育長) そういうわけではないです。それは市会議員の自由ですね。だから毎回される方もいらっしゃいますし、何回かに1回される方もいらっしゃいます。

(事務局) この前の総合教育会議なんかにも何名か来ていただいてまして、その様子を観て、一般質問をするという時もあります。

(事務局) さっきも申し上げましたが、追求型というよりは、今は応援型の方が多いかと思います。

(教育長) 色んな場合がありまして、議員さんによって色々ありまして、まあ想いは同じですので、ただ、教育委員会でも同じ想いであっても、予算がつかなければできなかつたり、難しい所がございます。

(事務局) どちらかという、多いのは全国でこういうことをやっているけど、熊野市ではどうですかとか、熊野市としてはどう思ってますかとか、そういった内容が多いですかね。熊野市はどのように取り組んでますかとか、色んな取り組み方があると思うんですが、それらを確認されるのが一般質問では多いかなと思います。その中で、じゃあ今後どうしていくんですかみたいな中には要望もありまして、議員として「どうでしょうか」というような提案がある場合もあります。

(教育長) ですから教育委員会として真摯にそれを考えていかねなければならない内容もありますし、内容によって「検討する」と答えた場合はですね、その検討をどうしているかということを継続的に報告していか

なければなりません。

(教育長) よろしいでしょうか。

(委員) はい。

(教育長) それでは、これをもちまして令和5年12月教育委員会会議を閉じさせていただきます。

(教育長) 次回の開催は、1月25日午後4時から、この会場（文化交流センター多目的ルーム）で開催させていただきます。ありがとうございました。